

2021 年度第 1 回支部集会【九州・沖縄支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2021 年 7 月 3 日（土）13：00-16：50

会場：オンライン

参加人数：58 名（会員 48 名・一般 10 名）

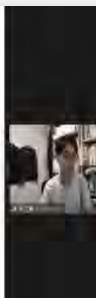
衣・食・住を支える技能実習生

・ 外国人技能実習生：約 40 万人

・ 出身国：ベトナム（約 19 万人）、中国（約 8 万人）、フィリピン、インドネシア、タイ、カンボジア、ミャンマーの順

・ 職種：機械・金属（約 7 万人）、建設（約 7 万人）、食品製造（約 7 万人）、農業（約 4 万人）、繊維・衣服（約 3 万人）の順

・ 技能実習生の多くが「エッセンシャル」な産業のサプライチェーンの末端に組み込まれてきた。ファストファッションや外食チェーン、建設産業など。



2021 年度第 1 回支部集会【九州・沖縄支部】を 7 月 3 日（土）にオンラインにて実施しました。2020 年度は新型コロナウイルス感染症のため、本支部集会は中止としており、2019 年度の沖縄以来 2 年ぶりの開催となりました。大きく 4 部構成とし盛りだくさんの内容となりました。

講演は「コロナ禍が労働市場に与えた影響と POSSE の取り組み」という題目で、渡辺寛人氏（NPO 法人 POSSE 事務局長）にお話しいただきました。POSSE は、外国人労働者を含む非正規労働者をめぐる問題提起を中心に、雑誌「POSSE」を刊行したり、労働者からの相談を通して企業に働きかけたりして、労働問題について発信を続ける団体です。講演では、コロナ禍によって急増した相談についての現状や外国人労働者の事案、労働者問題に取り組む日本人学生ボランティアの話があり、現場で正しく権利を主張することをともに学び広めていく必要性を感じました。続いて、研究発表（口頭発表）がありました。口頭発表は 1 件で松本剛次氏（長崎外国語大学）による「留学生の LMS への書き込みに見られる高次思考力一文のモダリティに注目してー」という発表でした。事前配信の動画から質疑応答を行う形式で実施しました。次の交流ひろばでは 5 件の出展があり、前後半の 2 部に分かれて意見交換を行いました。多彩なテーマでの出展で、活発な交流と情報交換の時間となりました。そして、集会の最後に「よろず雑談会」という参加者が雑談できる時間を設けました。30 分間という短い時間ではありましたが、POSSE 渡辺氏も含め 4~5 人のグループで、オンラインではなかなかできない雑談の時間を楽しみました。

実施後のアンケートでは、講演の感想として「日本語教育関係者として何ができるのか少しわかった」「このような活動がある中で、経済活動や社会が是正されていくと気づいた」、など熱気に満ちたものが多く見られました。

例年は 2 日間にわたり実施しているものを、今年は 1 日のみの 4 時間に凝縮したかたちでの開催でした。オンラインでの 4 時間は長丁場ですが、あっという間に感じた参加者も多かったのではないのでしょうか。来年は再び対面で 2 日間の開催ができるよう願ってやみません。この場を借りて、本集会にご参加くださった皆様、そしてご協力くださった関係者の皆さまに心より感謝いたします。

（報告者 支部活動委員：鴈野恵，新城直樹，橋本直幸，支部活動運営協力員：吉川達，山元淑乃）